



イボガエルの飼^かい方^{かた}を教^{おし}えて

イボガエルというカエルはいない

イボガエルとよばれているのは、ツチガエルか、ヒキガエルのことで、ほぼ、日本全国^{にほんぜんこく}で見^みられます。イボガエルというカエルは、いません。

カエルを飼^かうのはむずかしい

カエルは、生^いきたえさしか食^たべません。それに、飼^かう水^{すい}そうには、水^{みず}と陸^{りく}の部分^{ぶぶん}を用意^{ようい}しなければならず、なかなか飼^かうのはむずかしい動^{どうぶつ}物^{ぶつ}です。どうしても飼^かいた^{ひと}い^{つぎ}たい人は、次のようにして、飼^かってみま^はしょう。えさは、ミミズ、ダンゴムシ、羽^{はね}をとったハエ、クモ、ゴキブリなど、動^{うご}くもの^{ようい}を用意^{すい}します。水^{すい}そうに、生^いきているカ^いコ^この幼^{ようちゅう}虫^いを入れておくのも、いいでしょう。小^{ちい}さく切^きったうどんや、イカ、カ^いのむ^みき身^みなどを、カ^かエルの目^めの前^{まえ}でひらひら動^{うご}かしてやると、食^たべます。

ヒキガエルの飼^かい方^{かた}

ヒキガエルは、体長^{たいちよう} 15センチメートルくらいで、わりあい乾^{かん}燥^{そう}にも強^{つよ}いカエルなので、飼^かいやすい種^{しゅるい}類^{るい}です。水^{すい}そうに砂^{すな}や土^{つち}をしき、かくれがになる石^{いし}や土^ど管^{かん}を置^おきます。それに、皿^{さら}に入^いれた水^{みず}を置^おいておけばよいでしょう。

ツチガエルの飼^かい方^{かた}

体長^{たいちよう} は約^{やく} 5センチメートルくらいで、水^{すい}田^{でん}、池^{いけ}、用^{よう}水^{すい}路^ろ、みぞなどの水^{みず}辺^べにすみます。夏^{なつ}、水^{みず}草^{くさ}に産^{さん}卵^{らん}して、オタマジャクシで冬^{ふゆ}をこし、次^{つぎ}の年^{とし}にカエルになります。ヒキガエルとちがって、水^{すい}そうには水^{みず}の部分^{ぶぶん}と陸^{りく}の部分^{ぶぶん}が必要^{ひつよう}です。水^{みず}や水^{すい}そうの内^{うち}側^{がわ}を、いつもきれいにしておかないと、病^{びょう}気^きになることがあります。水^{みず}をきれいにする「ろ過^か装置^{ちゅう}」なども必要^{ひつよう}で、飼^かうのはなかなかむずかしいといえます。(監^{かん}修^{しゅう}・今^{いま}泉^{いずみ} 忠^{ちゅう}明^{めい})

